

学校だより
はす

ぬま

ちゅう

かがみ

蓮沼中鏡

令和3年度 第5号
令和3年9月1日発行
大田区立蓮沼中学校
校長 大山 聡

2学期のスタートにあたり

42日間の夏休みを終え、本日から2学期がスタートしました。夏休み中には東京2020オリンピックが開催され、もうまもなくパラリンピックの閉会式を迎えようとしているところです。本来であれば本日は、3年生が競技観戦をする予定でしたが、残念ながらコロナ禍によりできませんでした。しかしながら、選手たちの活躍をテレビで観戦し、一喜一憂した人も多くいたのではないのでしょうか。子どもころサッカーをやっていた自分にとっては、自国開催のオリンピックでメダルをという思いで応援していましたが、惜しくも4位という結果でした。自分も悔しかったことを通して成長したと思えたことが多々ありましたので、悔しがって涙を流す選手たちを見て、今後の日本サッカーのさらなる発展を予感しました。生徒たちも様々な競技を観戦し、いろいろな思いを感じ取ったことと思います。そのような思いをこれからの人生に生かしていってほしいと思っています。1学期の終業式に、「毎日寝る前に感謝することを思い浮かべてください。」というお話をしました。自分の置かれている立場や状況、環境などは様々ですが、その中から感謝することを見つけられれば、どのような状況においても前向きに進んでいけるのではないかと思います。オリンピック・パラリンピックに出場している選手たちへのインタビューで多くの人が話していましたが、家族やコーチ、友達など支えてくれた人たちや大会を支えてくれたボランティアの方々、相手の選手などへの感謝の気持ちが溢れ出ているインタビューを聞くと、コロナ禍で我慢を強いられている中でも感謝する気持ちは大切なことだと改めて思われました。

さて、2学期の授業では、ICTの効果的な活用や探究的な学びをさらに推進していきます。習得した知識や技能を活用し、子どもたちが自ら考え、その考えをもとに友達と対話することで自分の考えを深めていったり課題への解決を導き出したり、新たな課題を発見したりといった探究的な学びを進めていきます。感染症対策をしながら学校公開を行っていく方向で考えていますので、授業を見た感想を聞かせてもらえればと思っています。また、1学期に貸与したタブレットの持ち帰りによって、登下校時の子どもたちの荷物が大変に重くなっています。学校としても検討しているところでしたが、1学期の保護者会の中からも意見をいただきました。2学期からは、「学校に置いていってよいものリスト」は廃止し、家庭で学習するために必要なものを持ち帰ることにしました。詳細については各教科の授業の中で説明していきます。一人当たりの荷物を置くスペースが限られている部分もありますので、すべてのものを置いていくことはできませんが、自分に必要なものを持ち帰ることにより、子どもたちの荷物を軽くしていきます。(タブレットについては毎日持ち帰り、充電をお願いします。)

2学期は多くの行事が計画されており、このような状況の中でどのように進めていくのがよいのかは本当に悩みどころです。感染状況を見極めながら、一つ一つ判断をしていきたいと考えています。その中で、全員が納得する判断ができない場面もあるかと思いますが、多くの意見を参考にしながら判断をしていきたいと思っています。ご理解・ご協力をお願いします。

新学期からの新型コロナウイルス感染症対策について

- ・日ごろの健康管理に努め、生徒本人及び同居の家族が体調不良の場合は自宅待機をお願いします。
- ・医師や保健所の判断により検査を受けた場合は、その結果について学校へ速やかに連絡してください。

登校に不安を感じている生徒については、欠席扱いにはしません。また、給食を停止したい場合は、給食停止届を担任に提出する必要がありますので、事前に担任までご相談ください。給食の返金規定に基づいて年度末に返金します。